

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学Ⅰ(作業療法学科中心)		必修(作) 選択(福)	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
海保 享代	C317	kaiho	木 13:00~16:00		
授業の目的・概要	人間の動作を捉えるために、運動器の構造および機能的な知識、身体力学を中心に理解を深め運動を的確に判断できるようになることを目的とする。また、2年次以降の演習等にて必要となる知識の習得を目的とする。講義や質疑応答を行うオンラインの遠隔授業を実施し、終了後は授業内容による課題を提示する。その後フィードバックとして課題の解答提示・指導を行い授業内容の理解を深める。また、知識の習得を確認するため、毎回オンライン上で小テストを実施する。				
学習上の助言	この授業では解剖学・運動学で学んだ知識が必要となるので、解剖学の教科書や運動学の授業資料を復習しておくこと。 授業で学んだ知識は使える知識となるまで反復学習(書く、読む、体を動かすなど)を行いインプットする。そして学生同士で確認や説明するなどアウトプットの機会を多く行う。インプットとアウトプットするまでの過程を繰り返し行うことで学習効果が高まる。				
教科書	筋骨格系のキネジオロジー 第3版 著: Donald A. Neumann 出版: 医歯薬出版				
参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第4版 編: 野村 巖 出版: 医学書院 基礎運動学 第6版 補訂 著: 中村隆一他 出版: 医歯薬出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体運動・評価法に関する用語を正しく理解し、適切に使用し説明できる。			OT (2)	
②	上肢の骨格筋、関節の機能と役割を説明できる。			OT (2)	
③	下肢の骨格筋、関節の機能と役割を説明できる。			OT (2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 運動学総論①: 身体の運動の面と軸について学習する。 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題①: 教科書・印刷教材を参照し、関節運動、その面と軸について調べる(第1章)	6	
2	運動学総論②: 生体力学について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題②: 教科書・印刷教材を参照し、生体力学について調べる(第1章)	6	
3	運動学総論③: 運動器の構造と機能について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題③: 教科書・印刷教材を参照し、骨・関節の機能と構造について調べる(第2章)	6	
4	運動学総論④: 骨格筋の機能と構造、筋収縮、運動単位について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題④: 教科書・印刷教材を参照し、筋の機能と構造について調べる(第3章)	6	
5	上肢の運動学① 肩複合体(胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲上腕関節、肩甲胸郭関節)の構造について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑤: 教科書・印刷教材を参照し、肩複合体の構造について調べる(第5章)	6	
6	上肢の運動学② 肩複合体(胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲上腕関節、肩甲胸郭関節)の関節運動・筋について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑥: 教科書・印刷教材を参照し、肩複合体の運動について調べる(第5章)	6	
7	上肢の運動学③ 肘関節の構造、関節運動、筋について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑦: 教科書・印刷教材を参照し、肘関節、前腕の運動について調べる(第6章)	6	
8	上肢の運動学④ 手関節の構造、関節運動、筋について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑧: 教科書・印刷教材を参照し、手関節の運動について調べる(第7章)	4	
9	上肢の運動学⑤ 手指の構造、機能について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑨: 教科書・印刷教材を参照し、手指の構造について調べる(第8章)	4	
10	上肢の運動学⑥ 手指の関節運動、筋について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑩: 教科書・印刷教材を参照し、手指の運動について調べる(第8章)	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

11	下肢の運動学① 股関節の構造、機能について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑪：教科書・印刷教材を参照し、股関節の構造について調べる（第12章）	4
12	下肢の運動学② 股関節の関節運動、筋について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑫：教科書・印刷教材を参照し、股関節の運動について調べる（第12章）	4
13	下肢の運動学③ 膝関節の構造、機能について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑬：教科書・印刷教材を参照し、膝関節の運動について調べる（第13章）	4
14	下肢の運動学④ 膝関節の関節運動、筋について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑭：教科書・印刷教材を参照し、膝関節の運動について調べる（第13章）	4
15	下肢の運動学⑤ 足関節・足部の構造、関節運動、筋について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業・小テスト	課題⑮：教科書・印刷教材を参照し、足関節、足部の運動について調べる（第14章）	4
試				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	10	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	90	5	0	0	0	95
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	試験終了後に試験についての振り返りを遠隔授業にて行い、正誤を確認する。
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	✓	授業内にフィードバックする。
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。
遠隔授業の実施状況によっては今後、再びシラバス改訂の可能性はある。課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。
小テストは授業内で提示した QR コードをスマートフォンで読み取り実施する。遠隔授業を行う際は手元にスマートフォンやタブレットなど QR コードを読み取る電子媒体を用意しておくこと。

教員の実務経験：作業療法士免許を有したのち 10 年以上の臨床業務経験

実践的授業の内容：臨床での運動学の知識の活用や疾患の説明を加えることにより、実践的な運動学に関する知識と技術の獲得を促す。